

令和5年度 施政方針と予算の概要をお知らせします



市議会定例会の初日(2月28日)に、臼井市長が市政運営の基本方針を、山下教育長が教育施策推進の基本的考え方を表明しました。その概要をお知らせします。全文は、市役所2階行政資料コーナー及び市ホームページでご覧いただけます。



総合基本計画の2年目を迎えて

本年は、目指すまちづくりの実現に向け、市民の皆様とともに着実に歩みを進め、各取り組みを軌道に乗せる年です。組織の力を最大限に発揮し、一つ一つの課題に取り組みます。

平和への想い

今なお続くロシアによるウクライナへの武力侵略に対し、断固抗議するとともに、一刻も早い平和的解決を切に願っています。

昨年は、本市が「非核平和都市」を宣言してから40周年を迎えました。今後も、平和事業を通じ、一步一步確実に平和への歩みを進めます。

また、東アジア地域における我が国周辺を取り巻く安全保障環境は、これまで以上に緊迫した状況であると捉えています。我が国の平和と安全のために米軍横田基地が果たす役割は重要度を増す一方で、周辺住民の皆様は日常生活に著しい影響を受けています。引き続き、基地に起因する諸課題の解決に向け、都や周辺市町と連携し、対応していきます。

物価高騰への対応

昨今の物価高騰や新型コロナウイルス感染症は、市民生活や社会経済活動に大きな影響を及ぼしています。市民の皆様暮らしを守る取り組みのひとつである水道料金・下水道使用料減免事業については、延長して現在も継続しています。今後も、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた地域経済の再生に向け、迅速かつ的確な対応に努めます。

新型コロナウイルス感染症への対応

法的な位置づけが変わることを踏まえ、国や都の動向を注視し、皆様の命と健康を最優先に、必要な対応を図ります。また、コロナ禍で進んだ社会の変容を捉え、盤石な組織体制のもと、社会保障、保健・福祉制度を推進します。

美しい水と緑を将来の世代に

昨年は、気候危機・気候非常事態宣言(※1)、ゼロカーボンシティ(※2)の表明、再エネ100宣言 RE Action(※3)



への参加などを実現するとともに、市の事務事業における目標「カーボンフオーター 2030」(※4)への取り組みも始めました。引き続き、2030年カーボンハーフ(※5)、そして、2050年カーボンニュートラル(※6)の実現のため、市を挙げて取り組んでいきます。

防災・減災への取り組み

首都直下型地震、南海トラフ巨大地震、本市に最も大きな被害が見込まれる立川断層帯地震のほか、気候変動の影響による異常気象など、いつ発生するか分からない自然災害に備える必要があります。



「自助・共助・公助」の理念に立ち返り、市民・自主防災組織・事業者・市の連携を強化して地域防災力を向上するとともに、関係機関と連携を深め、総合的な危機管理体制の充実を図ります。

人口減少・超高齢社会への対応

国は、こども家庭庁を創設するとともに、こども基本法に基づく総合的な子ども施策をスタートさせます。都においても、政策分野の垣根を越えた子ども政策を総合的に推進していくとしています。地域社会の宝であり、未来を創る希望である、子どもたちの健やかな成長を支えるため、市においても関係機関と連携し、地域全体で子育てを支える社会の実現に向けて取り組みます。

また、高齢者が住み慣れた環境で、自分らしく暮らし続けるための支援と、地域が有する社会資源を積極的に活用するための仕組みづくりを行い、地域包括ケアシステムを深化・推進します。



公共施設や公有財産の管理・活用

老朽化の進む公共施設については、公共施設等総合管理計画に基づき、利用状況の変化に対応しつつ、市民サービスの維持・向上を前提に適切な管理に努めます。

市民交流センターは本年6月をもって閉館し、令和7年の開設に向け、新たな交流拠点となる施設の建設をスタートします。この施設は、市民サービス向上はもとより、東部地域の防災拠点としての役割を担います。環境への配慮として地中熱を利用し、

デジタル化へも対応するなど、今後の公共施設建て替えのモデルケースとなる施設を目指します。

新幹線電車図書館として愛されてきた旧市民図書館つつじが丘分室は、老朽化が進む車体を良好な状態に保つことを最優先に、クラウドファンディングの手法による財源の確保に取り組みます。



また、公有財産利活用方針のもと、公有財産の最適な活用を検討します。

中神土地区画整理事業・中神駅北側地域のまちづくり

今後のまちづくりについて、ご意見を伺い、ご理解をいただく中で、第二工区駅前ブロックは、引き続き事業の早期完了に努めます。一方、第二工区の旧北・西ブロックと旧第三工区は、土地区画整理事業によらない整備手法に変更し、中神駅北側地域整備計画に基づき、安全で安心して快適な都市生活を送ることのできるまちづくりの早期実現を目指します。また、新たに中神駅北側地域整備事業特別会計を創設し、まちづくりに係る経費を明確化します。

教育の推進について

総合教育会議を通じて教育委員会と市長部局とが強固に連携し、責任のある教育の実施に努めます。子どもたちの成長をしっかりと支え、昭島の未来、我が国の未来を担う人材の育成に向け、全力で取り組みます。

学校教育

エスディージーズ SDGs(※7)に関連させた学習を展開し、持続可能な社会づくりに貢献する資質や能力を育むとともに、ふるさと昭島の自然と文化を愛し、社会に主体的に貢献できる「たくましい昭島っ子」の育成に努めます。また、児童・生徒が学んで楽しい、先生が教えて楽しいと実感できる学校づくりを進めます。

生涯学習

教育振興基本計画に掲げた目標「市民相互と地域のつながりを育てる生涯学習」を基本に、家庭や地域の教育力を高める多様な学習活動をはじめ、スポーツ、文化芸術など、市民の自主性を尊重した生涯学習を推進します。

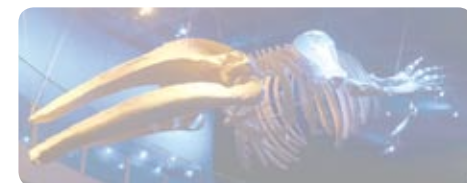


20年後、30年後、その先の社会を見据えて

今後、一段と厳しい財政環境や、新たな時代の要請への対応を迫られることが想定される中であっても、将来にわたり安定的に行政サービスを提供していくため、多様な人財の確保と、自ら学び、積極的に行動する自律した人財の育成に努めます。

将来を見据えた自治体DXとして、デジタルデバイド(※8)の対策に配慮しつつ、マイナンバーカードを活用した行政手続きのオンライン化など、より質の高いサービスの提供に取り組みます。また、デジタル技術を活用した業務改善・業務改革の成果を対面による市民対応に振り向け、すべての市民が実感する行政サービスの向上につなげます。

コンパクトな市域の中に、充実した都市基盤と、水と緑の自然環境が調和した、田舎過ぎず、都会過ぎない、ちょっと都会な、昭島市の特徴とも言える、住宅都市としての魅力に磨きをかけ、将来都市像「水と緑が育む ふるさと昭島」、そして、多様性と意外性に富んだ、笑顔があふれる楽しいまち昭島の確かな実現に向け、力を尽くします。



→ 令和5年度の予算の概要、及び、主な施策については、4～7ページにまとめて掲載しています。

- ※1 気候が危機的な状況であることを市民や事業者などと共有し、共に地球温暖化対策に取り組むために行う宣言
- ※2 2050年までに温室効果ガスの実質排出量ゼロを目指すという表明をした自治体
- ※3 企業や自治体などが、使用電力の100%を再生可能エネルギー(再エネ)によって発電された電力に転換する意思と行動を示し、再エネ100%の利用を促進する枠組み
- ※4 2030年度までに、昭島市役所が行う事業などによる

温室効果ガスの排出量を、2013年度と比べて75%削減すること

※5 2030年度までに、市内の温室効果ガスの排出量を、2000年度と比べて50%削減すること

※6 2050年までに、温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させて、実質排出量をゼロとすること

※7 国連が掲げる持続可能な開発目標

※8 インターネットやパソコンなどの情報通信技術を利用できる人とできない人の間に生じる格差

令和5年度 予算の概要

物価高騰や世界的な景気後退への懸念もあり、今後も厳しい社会経済状況が続くと思われます。

国の予算案では、グリーントランスフォーメーション(※1)やデジタル社会の実現のための投資のほか、子ども政策の充実、安全保障環境の変化への対応など、重要課題に道筋をつけ、未来を切りひらくための予算としています。

都の予算案では、少子化や自然災害、気候変動への対応など、未来への投資に大胆に財源を振り分け、あらゆる分野の施策を展開するとしています。

市では、国や都の施策と連携を図りつつ、物価高騰などに加え、大規模建設事業などに対応するため、財政需要がこれまで以上に高まっています。

こうした状況下で取りまとめた、令和5年度の一般会計及び特別会計を合わせた予算総額は、760億

8996万8千円で、前年度と比べて38億6877万9千円(5.4%)増加しました。

各会計の予算額は4ページの表1・表2のとおりです。一般会計は491億円で、前年度と比べて28億9600万円(6.3%)増加しました。歳入・歳出の内訳は、下のグラフのとおりです。

歳入では、個人市民税や法人市民税などの市税の増収や、学校給食共同調理場整備事業などの市債の増加を見込んでいます。

歳出では、学校給食共同調理場整備事業などの教育費や、市民総合交流拠点施設整備事業などの総務費の増加を見込みました。

☆詳しくは、財政係へ。

※1 再生可能なクリーンエネルギーを使用し、経済社会システムの変革を目指す取り組み

表1 5年度一般会計・特別会計予算額

会計名	当初予算額	前年度比
一般会計	491億円	6.3%増
国民健康保険	124億3500万円	1.7%増
介護保険	103億4833万7千円	0.0%増
後期高齢者医療	29億3027万6千円	5.5%増
中神土地区画整理事業	3億3435万3千円	49.3%減
中神駅北側地域整備事業	9億4200万2千円	
小計	269億8996万8千円	3.7%増
合計	760億8996万8千円	5.4%増

表2 5年度公営企業会計予算額

区 分		当初予算額(前年度比)	
		収 入	支 出
水道事業	収益的収入・支出	19億5662万円 (1.3%増)	17億7849万 6 千円 (3.1%増)
	資本的収入・支出	918万 1 千円 (5.8%減)	12億3456万 9 千円 (19.0%増)
下水道事業	収益的収入・支出	24億8684万 3 千円 (0.1%増)	23億3541万円 (1.4%増)
	資本的収入・支出	3 億631万 6 千円 (47.4%減)	10億92万 7 千円 (26.3%減)

令和5年度一般会計補正予算第1号を編成

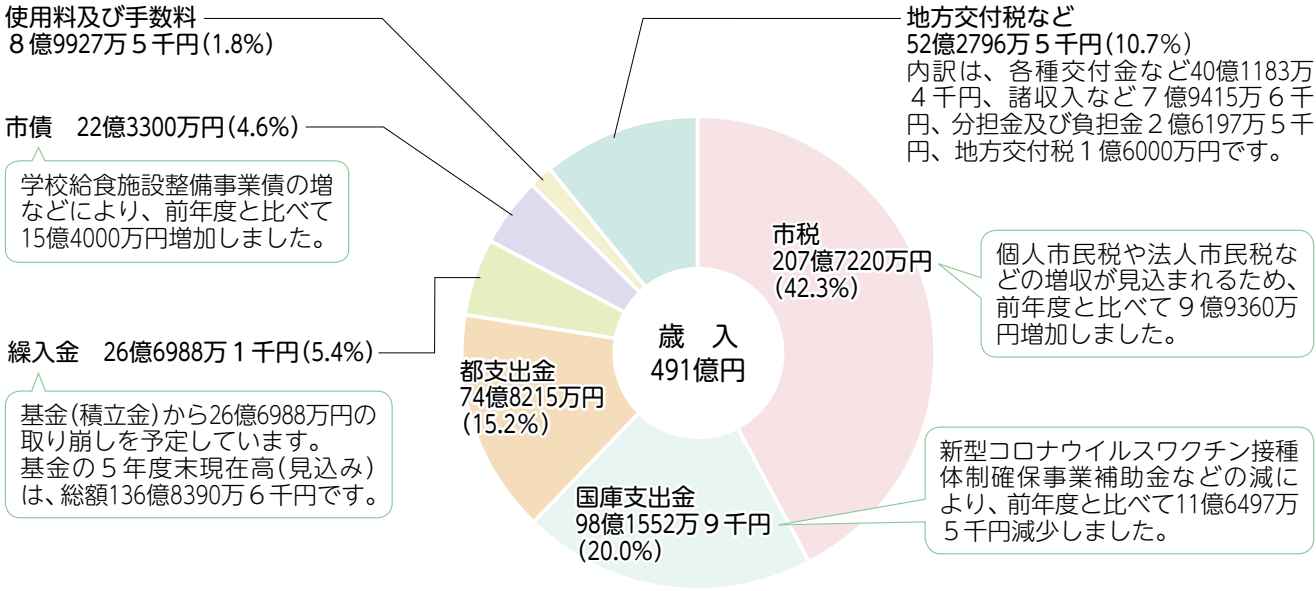
新型コロナウイルス感染症などの対策として、補正予算を編成しました。

補正予算額は総額10億9530万円で、補正後の予算総額は501億9530万円です。

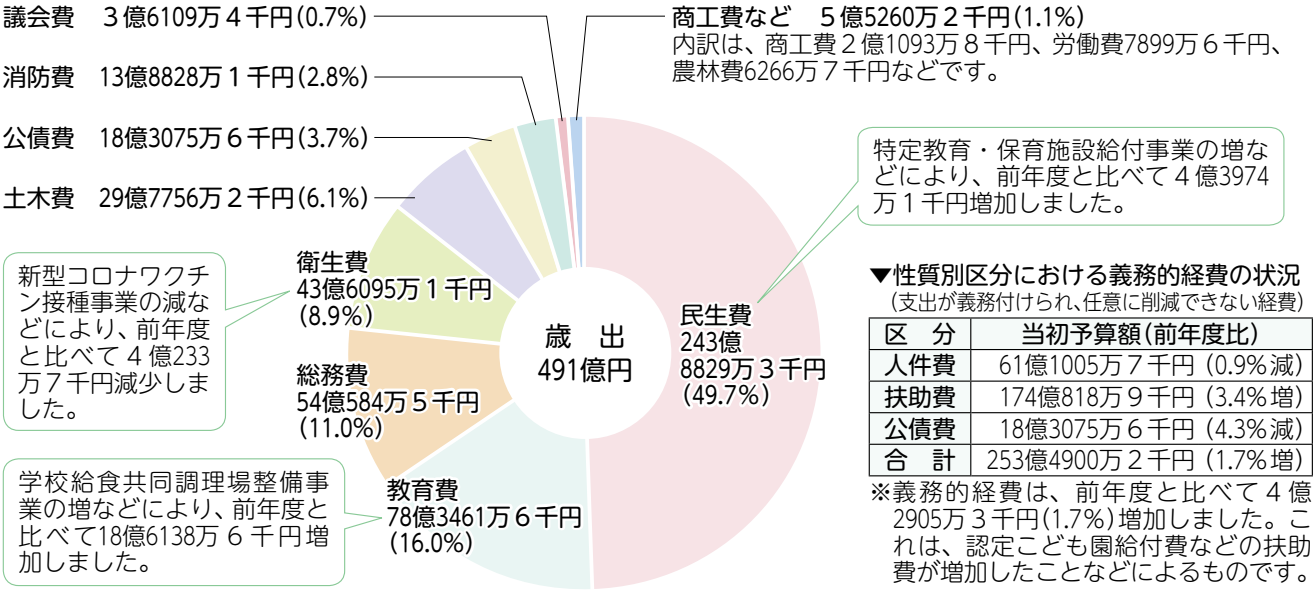
☆詳しくは、財政係へ。

内容	金額
新型コロナワクチン接種事業	10億8130万円
新型コロナウイルス感染症検査等委託	120万円
母子健康診査事業の拡充	1280万円

歳入 ～市税や市債などは増加、国庫支出金などは減少～



歳出 ～教育費や総務費などが増加～



▼性別別区分における義務的経費の状況
(支出が義務付けられ、任意に削減できない経費)

区分	当初予算額(前年度比)
人件費	61億1005万7千円 (0.9%減)
扶助費	174億818万9千円 (3.4%増)
公債費	18億3075万6千円 (4.3%減)
合計	253億4900万2千円 (1.7%増)

※義務的経費は、前年度と比べて4億2905万3千円(1.7%)増加しました。これは、認定こども園給付費などの扶助費が増加したことなどによるものです。

歳入額を市民一人当たりに換算すると… 42万9725円

市税 市民税、固定資産税・都市計画税などの税金 18万1799円	国庫支出金・都支出金 特定の事業のために国や都から支出されるお金 15万1390円	繰入金 基金や特別会計から一般会計に繰り入れられるお金 2万3367円	市債 市が建設事業を行うために国・都・銀行などから長期にわたり借り入れるお金 1万9543円
使用料及び手数料 自転車等駐車場など市の施設の使用料、住民票や税証明書などの発行手数料 7871円	その他 4万5755円 * 地方交付税＝地方公共団体間での財源の均衡化を図るために、国から交付されるお金	* 分担金及び負担金＝保育料など、市が行う特定の事業により利益を受ける人が、その事業のために支払うお金	
* 各種交付金など＝各種法令で定められた一定基準によって国や都から市へ配分されるお金 * 諸収入など			

※ 5年1月1日現在の人口11万4259人をもとに算出

歳出額を市民一人当たりに換算すると… 42万9725円

民生費 障害者や高齢者に対する社会福祉、児童福祉、生活保護などの費用 21万3447円	教育費 小・中学校教育、社会教育、市民会館・公民館活動などの費用 6万8569円	総務費 庁舎管理、徴税、統計、選挙事務、戸籍、住民登録などの費用 4万7312円	衛生費 ごみ処理、保健衛生、予防接種、環境衛生などの費用 3万8167円
土木費 道路の新設・維持管理、公園の維持管理などの費用 2万6060円	公債費 市債(市が借り入れたお金)の返済のための費用 1万6023円	消防費 消防活動、災害対策などの費用 1万2150円	その他 市議会運営、労働、農業、商工振興、観光などの費用 7997円

※5年1月1日現在の人口11万4259人をもとに算出

令和5年度 主な施策

新規事業を中心に、総合基本計画の施策大綱に基づいて紹介します(金額は予算額／1万円未満は四捨五入)。このほかの事業などは、「令和5年度当初予算」(市役所2階行政資料コーナーにあり／市ホームページにも掲載)をご覧ください。
☆詳しくは、財政係へ。



安全で安心して住み続けられるまち

- ▶避難行動要支援者個別避難計画を作成 …… 337万円
災害による避難の際に支援が必要な方について、避難経路や支援者などを定めた計画を作成します。
- ▶災害時情報伝達一斉配信システムを導入 …… 152万円
災害時に必要な情報を迅速・確実に発信するため、一度の入力で複数の伝達ツールに配信できるシステムを導入します。
- ▶大型ディスプレイを設置 …… 3024万円
市役所1階市民ホールに設置します。Webセミナーなどで使用できるほか、災害時に被害や避難所の状況など複数の情報を同時に確認することができます。

互いに支え合い、尊重し合うまち

- ▶市民総合交流拠点施設の整備工事に着手 …… 5億288万円(整備工事の3か年総額18億3100万円)
市民総合交流拠点施設は、災害対策や、環境への配慮、デジタル化への対応など複合的な機能を持つ施設です。令和7年中のオープンを目指し、実施設計と解体・新築工事を行います。
- ▶出産・子育て応援ギフトを配布 …… 1億9719万円
妊娠届や出生届を提出した世帯を対象に、出産・育児用品の購入や子育て支援サービスに使用できるクーポンを送付します。
- ▶妊娠8か月面談を実施 …… 179万円
妊娠から子育てまで一貫して相談に応じ、必要な支援につなげる伴走型相談支援を充実させるため、新たに妊娠8か月の妊婦を対象に面談を実施します。
- ▶心身障害者への助成を拡充 …… 2227万円
ガソリン価格の高騰などによる利用者の負担を軽減するため、4月～9月分の自動車ガソリン費とタクシー利用料の助成を拡充します。
- ▶地域福祉計画を策定 …… 110万円
地域福祉の推進のため、成年後見制度利用促進計画を含む次期計画を策定します。
- ▶障害者福祉計画(障害者プラン)を策定 …… 75万円
障害者施策の総合的・計画的な推進のため、令和4年度に実施した基礎調査を踏まえて計画を策定します。

環境負荷を低減し、 水と緑の自然環境を守るまち

- ▶清掃センター焼却施設を補修 …… 2億7843万円
安定したごみの焼却処理のため、焼却炉自動燃焼制御機器などの修繕を行います。また、精密機能検査を実施し、保守計画を策定します。
- ▶災害廃棄物処理計画を策定 …… 1262万円
災害廃棄物などを適正・迅速に処理し生活環境を保全するとともに、公衆衛生上の支障を防止するため、新たに計画を策定します。
- ▶再生可能エネルギー電力などを導入 …… 1216万円
新たに、再生可能エネルギー100%電力(※1)を環境コミュニケーションセンター、アキシマエンス、FOSTERホール(市民会館)・公民館に、カーボンニュートラルガス(※2)を総合スポーツセンターに導入します。
- ▶太陽光発電設備などを設置 …… 8860万円
福島中と大神会館に設置します。
- ▶公共施設などの照明器具をLED化 …… 4362万円
公共施設や街路灯などの照明器具を順次交換します。



快適で利便性に富んだまち

- ▶(仮称)玉川上水南側地区の地区計画を策定… 650万円
自然や景観に配慮した土地利用の誘導を図るため、新たに地区計画を策定します。
- ▶都市計画道路3・4・1号を整備 …… 5億8260万円
幹線道路を整備するため、都市計画道路3・4・1号(昭島中央線)の工事を実施します。
- ▶市道昭島6号・14号・23号道路を改修 …… 7810万円
安全・安心で快適な交通環境を確保するため、舗装の改修工事を実施します。
- ▶公園・児童遊園のトイレを改築 …… 3000万円
田中町住宅第二公園と東町一丁目児童遊園のトイレを、バリアフリーにも対応するよう改築します。

未来を担う子どもたちが育つまち

- ▶学校給食共同調理場を整備 …… 22億5325万円
令和6年4月の供用開始に向け、工事を実施します。
- ▶義務教育就学児医療費助成を拡充 …… 2億2676万円
所得制限を設けずに、医療費助成を行います。
- ▶高校生等医療費助成を開始 …… 7240万円
所得制限を設けずに、医療費助成を行います。
- ▶学校給食用食材料購入費の補助を拡充 …… 3663万円
食材料の値上げによる保護者の負担を軽減するため、補助を拡充します。
- ▶保育所等への物価高騰緊急支援 …… 1543万円
食材料の値上げによる保護者の負担を軽減するため、市内保育施設や幼稚園などに補助します。
- ▶学習支援員等を会計年度任用職員へ移行 …… 6366万円
小・中学校で活動する学習支援員などを会計年度任用職員へ移行し、子どもたちがより質の高い支援を受けることができるよう、体制を見直します。
- ▶水泳指導民間活用事業 …… 812万円
熱中症を防止するとともに授業時間を安定して確保するため、つつじが丘小と光華小をモデル校として、民間事業者を活用した水泳指導を実施します。
- ▶小・中学校の建物耐力度調査 …… 5664万円
校舎などの改築や長寿命化工事を計画的に推進するため実施します。
- ▶自閉症・情緒障害固定学級整備工事 …… 2112万円
特別な支援が必要な児童のため、田中小に固定学級を新設します。



文化芸術、 スポーツの振興を図るまち

- ▶総合スポーツセンターの空調設備を改修 …… 3770万円
- ▶みほり体育館の床を改修 …… 2640万円
- ▶市立会館の空調設備を改修 …… 1710万円
昭和会館、武蔵野会館で実施します。

生活を支え、活力を生み出すまち

- ▶昭島市民くじら祭の補助 …… 1430万円
新型コロナウイルス感染症の影響により開催されなかった50周年記念の昭島市民くじら祭を令和5年度に実施するため、金額を拡充して補助します。
- ▶地域産業デジタル化推進事業 …… 1500万円
市内中小事業者がデジタル技術を活用し、経営の効率化や販路拡大などを図るための経費を補助します。
- ▶中小企業へ事業資金融資利子などを補助 …… 3657万円
中小企業の経営の安定のため、融資のあっ旋や利子などの補助を行います。
- ▶まちづくり企業サミットを開催 …… 15万円
官民連携のもと魅力あるまちづくりを進めるため、「脱炭素社会(※3)の実現」を主要テーマに開催します。



計画実現のために

- ▶庁舎外壁等改修工事 …… 4億7199万円
外壁や屋上防水などの改修工事を実施します。
- ▶庁舎劣化度調査 …… 2730万円
長寿命化のため空調設備などの劣化度を調査します。
- ▶クラウドファンディングを実施 …… 79万円
令和6年度に実施予定の旧昭島市民図書館つつじが丘分室(新幹線電車図書館)の改修工事に向け、財源の確保に取り組みます。
- ▶昭島市公式LINE^{ライン}のサービスを拡充 …… 59万円
公式アカウントの利便性の向上のため、問い合わせの多い保育施設への入所を支援する機能を追加するなど、サービスを拡充します。
- ▶市議会ICT機器(※4)を導入 …… 433万円
議員活動の活性化や迅速・確実な連絡手段の確立、ペーパーレス化の推進のため、タブレット端末などのICT機器を導入します。

- ※1 消費する電力を100%再生可能エネルギーで賄うこと
- ※2 採掘から燃焼までの工程で発生する温室効果ガスと同じ量を削減するためにさまざまな取り組みを行うことで、実質排出量がゼロであるとみなされるしくみのもとで供給されるガス
- ※3 温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させて、実質排出量がゼロとなる社会
- ※4 情報通信技術を利用するための機器